

マンガで学ぶ予防接種 ～染子先生のおはなし～

その⑤

DPT-IPV・DTってなあに？

国立感染症研究所 感染症疫学センター

・DPT-IPV（四種混合）ワクチン

・DPT（三種混合）ワクチン

・DT（二種混合）トキソイド

・不活化ポリオワクチン

・破傷風トキソイド

・成人用ジフテリアトキソイド

①ジフテリア（Diphtheria）

②百日せき（Pertussis）

③破傷風（Tetanus）

④ポリオ（Polio）

今回はこの四種の
病気に対する
ワクチンについて
勉強するよ！

学くん

染子先生

ジフテリア

ジフテリアはジフテリア菌の飛まつ*感染によって起こります。高熱、のどの痛み、犬が吠える様なせきなどがでて、扁桃（へんとう）や気道に厚い膜ができて窒息することもあります。

菌の出す毒素によって心臓の病気や神経まひを起こすことがあるため注意が必要です。

日本では1999年の患者さんを最後にジフテリアの患者さんは報告されていませんが、海外にはまだ多くの患者さんがいます。

*飛まつ：咳やくしゃみ、会話の時に飛び散るしぶき

破傷風

破傷風菌はヒトからヒトには感染しません。土の中にいる破傷風菌が傷口などからヒトの体内へ入ることによって感染します。転んだり、土いじりの時など、皮フにできた傷から感染しますが、本人や周囲が気づかない程度の軽い傷から侵入して感染することもあります。菌の出す毒素のために筋肉の強直性けいれんを起こすようになり、治療が遅れると死亡することもある病気です。世界中の土壌に菌がいるため、感染の機会はずっとあり、日本でも毎年100人以上の患者さんが報告されています。

百日せき

百日せきは百日せき菌あるいはパラ百日せき菌の飛まつ感染で起こります。かぜのような症状から始まり、徐々にせきがひどくなって顔を真っ赤にしてせき込むようになります。発熱は通常ありません。乳児ではせきで呼吸ができず、くちびるが青くなったり（チアノーゼ）、けいれんが起きたり、突然呼吸が止まってしまうことがあります。肺炎や脳症などの重い合併症を起こすことがあり、ワクチンを受けていない新生児や乳幼児では死亡することもあります。長引くせきを特徴とする思春期、成人の百日せきが増加し、乳幼児への感染源になっていることが問題になっています。

ポリオ

ポリオ（急性灰白髄炎）は「小児まひ」と呼ばれますが免疫がなければ大人もかかります。免疫を持っていないヒトの口から入ったポリオウイルスはのどや小腸で増えて、便中に排泄されます。それが再びヒトの口に入り感染を拡大していきます。ポリオウイルスに感染しても、ほとんどの人は症状が出ませんが、100人中5～10人はかぜのような症状やずいまく炎を発症することがあります。また、極めてまれにウイルスが脊髄に到達して手や足にだらりとしたまひを残すことがあります。まひが進行すると、呼吸困難により死亡することもあります。世界保健機関（WHO）は2000年に日本を含む西太平洋地域のポリオ根絶を宣言しました。しかし現在でもパキスタン、アフガニスタン等の国々ではポリオの発生がみられており、根絶宣言された国に感染が拡大するという事態も生じています。



この四種の病気に対するワクチンのうちDPT-IPVワクチンとDTトキソイドについて説明するね

標準的な接種のしかた(DPT-IPV):1期

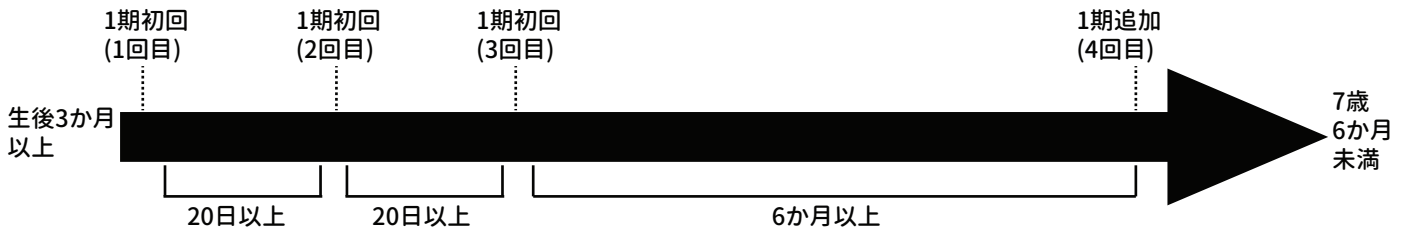
〔接種年齢〕 生後3か月以上7歳6か月未満

〔接種間隔・回数〕 1期初回はそれぞれ20日以上あけて3回(標準的な接種間隔:20~56日)

1期追加は1期初回の3回目終了後6か月以上あけて1回

(標準的な接種間隔:1期初回の3回目終了後12か月以上18か月未満)

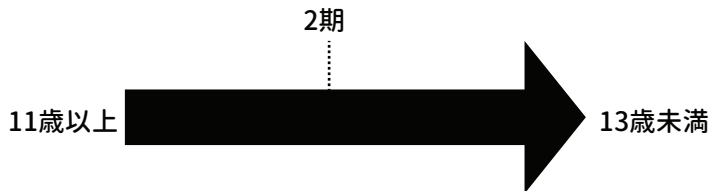
いずれも1回に0.5mLを注射します。



標準的な接種のしかた(DT):2期

〔接種年齢〕 11歳以上13歳未満(標準的な接種年齢:11歳以上12歳未満)

〔接種間隔・回数〕 2期として1回。1回に0.1mLを注射します。



百日せき、ジフテリア、ポリオ、破傷風のいずれかにかかったお子さんもDPT-IPVワクチンまたはDTトキソイドを使用することが可能です。万が一間隔があいてしまった場合は、お住まいの市区町村、保健所、あるいはかかりつけの小児科医にご相談ください。

発熱
発赤
腫脹(はれ)
硬結(しこり)

この四つが
主な副反応
だね



もしものときは
お医者さんに
相談ね!

